

新入生オリエンテーション

4月7日（水）午後、翌日の入学式の練習も兼ねて、新入生が初登校しました。



昇降口でクラス確認



生徒会執行部の先輩たちが迎えてくれます



教室で新しい仲間と 少々緊張気味



第1学年担任団です

お詫び

5月9日（日）に予定していた「資源回収」は、新型コロナウイルス感染状況により、残念ながら中止といたしました。それとともないまして、4月に予定していた「校外クラブ指導委員会」は7月に延期させていただきます。この会で、秋の資源回収が実施できるよう、打合せをさせていただき予定です。ご準備をさせていただいた地域の皆様に対し、感謝とともにお詫びを申し上げます。10月の資源回収については、改めて連絡させていただきます。ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

新任者です。よろしくお願いいたします！

教頭	茂庭 秀明	舟形町立舟形中学校より
教諭	鈴木 英幸	村山市立葉山中学校より
教諭	後藤 早岐子	大石町立大石中学校より
教諭	本間 拓	東根市立神町中学校より
教諭	阿部 友典	東根市立神町中学校より
教諭	荘司 一夢	新規採用
講師	井上 葉子	東根市立第二中学校より
講師	阿部 賢太	東根市立大富中学校より
図書整理員	井上 由香	村山市立戸沢小学校より

楯中点描

◇4月7日、新任式、始業式が行われました。9名の教職員が赴任しました。どうぞよろしくお願いいたします！

◇今年度も、感染防止に配慮した形で入学式を行いました。昨年度は入学式の翌日から臨時休業でした。今年度は生徒たちが学校に来られることが嬉しいです。しかし、新型コロナウイルスの猛威は衰えません。さらに気をつけて教育活動を行ってまいります。

○楯岡中学校、今年度も地域の皆様とともに頑張っていくつもりです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

文責：校長 笹原 聡

楯岡中通信



村山市立楯岡中学校

第1号

入学式特集号

令和3年4月28日（水）



第17回 入学式(4月8日) 126名の新入生 笹原 聡 校長の式辞より（一部抜粋）

126名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
「学ぶ 響く 琢く」楯岡中学校の校訓です。「学ぶ」とは、勉強はもちろん、多くの知識や技能、考え方やその方法をも自分のものにしようと努力すること。「響く」とは、学んだことをもとにしながら、それらをつなげたり、感性を働かせたり、仲間や社会と呼应したりすること。「琢く」とは、適切な生活習慣を身につけ、仲間のよさや自分のよさをより大きく引き出し、高みを目指すこと、と私はとらえています。ぜひ、この校訓を心に据え、夢に向かって、中学校生活を送ってください。

今、私たちは「コロナ禍」を生きています。でも、桜は今年も美しく咲いています。山も野も、雪解けの水のかたわらから、新しい芽を育てています。そして、私たち一人一人も、一度しかない今を生きています。新型コロナウイルス感染症には、十分に注意をし、気を抜かないで予防を行っていかなくてはなりません。しかし、私たちの学びも止めてはいけません。「できない理由を探すよりも、できる可能性を考えましょう」。前向きな気持ちこそが、自分を高める一歩だと思います。それは、コロナに限ったことではありません。私たちの日常もそうです。多くの物事には、幸不幸の性格はありません。それを自分がどう受けとめるかで、気が重くなったり、逆にやりがいになったりするのだと思います。モチベーションをコントロールできる人間になりたいものです。

人はそれぞれが違います。顔つきや考え方も違います。違っているから良いのです。そして、それは、大事にしなければならぬことだと思うのです。なぜなら、誰にでも、その人にしかない良さがたくさんあるからです。これからの中学校生活、コロナによるものも含め、もどかしさや悔しさ、苦しさもきっとあることでしょう。それでも、皆さんは、新しい生活の中で、多くの人とふれあい、違いを認め、良さを見つけ、そして、自分をも成長させてください。仲間を大事にしながら、仲間とともに「学び 響き 琢き」、たくさんの挑戦をしていきましょう。

さあ、新入生のみなさん。みなさんは、今、真っ白いキャンバスです。どんな構図で、どんな色をつかって、どんなタッチで、どんな絵を描くかは、みなさん次第です。作者はあなたです。他人のまねではない、自分らしいオリジナルの素敵な人生の絵を描いていきましょう。



入学おめでとう

祝 村山市立楯岡中学校 入学式



新入生入場

4月8日(木)
保護者の皆様が見守る中、新入生126名の入学式が厳かに行われました。

少し大きめの真新しい制服に包まれた新入生は、緊張した面持ちながらも凛とした様子でした。さあ、新たなスタートです！



新入生の真剣なまなざし 間隔をとった会場



新入生呼び上げ 大きな声で



入学祝品贈呈 代表 森 僚汰さん



教科書給与 代表 高嶋凜桜さん



第1学年担任団



新入生退場

新入生 誓いの言葉 (全文) 新入生代表 梅津花帆さん

草花が芽吹き、命きらめく春の訪れとともに、私たちは楯岡中学校の入学式を迎えることとなりました。

本日は、新型コロナウイルスが感染を拡大している中でも、私たちが安全に温かく迎えてくださり、本当にありがとうございます。

今日から私たちは、楯岡中学校の一員です。中学校では小学校と異なり、自分たちで考えて行動したり学んだりできる「自立」の力を付けていきます。自分の手で工夫して多くの見方から物事を進めることが大切になります。もちろん慣れない中学校生活の中で悩んだり、立ち止まったりすることもあるかもしれませんが。そんな時は今一緒に同じ時を過ごしている仲間たちと共に助け合いながら、一歩ずつ着実に前進していきたいと思います。

私たちは今、前例のない困難に立ち向かっています。小学校最後の一年も思うようにいかないことが多くありましたが、今まで普通だと思っていた「日常」の幸せを改めて実感することができました。私たちはこのような激変した日々の中で、正解のない問題へ対応し続けながら生きる、たくましさやしなやかさを育てていっています。これからも一日一日夢に向かって自分と向き合い、歩んでいきます。

これからは、楯岡中学校の一員として、校訓にある「学ぶ 響く 琢く」を常に胸に刻み、伝統を受け継ぎ、よりよい楯岡中学校を創っていく決意です。先生方、保護者の方々、先輩方、地域の皆様、ご指導よろしくお願ひします。



歓迎の言葉 (一部抜粋) 生徒会副会長 森 慶俊さん

楯岡中学校には、「学ぶ 響く 琢く」という校訓があります。この校訓を達成するため、私たち楯中生が大切にしているものを紹介します。

まずは授業です。楯岡中学校では、自ら進んで勉強することが大事になります。課題と向き合い、それを解決するため一生懸命取り組んでいます。教科ごと先生が変わるのも中学校の特徴です。各教科、専門の先生がいらっしゃるので、分からないところは、すぐに質問できます。

次に、部活動です。楯岡中学校には、運動部と文化部等、十七の部活動があります。県内トップクラスの施設で、技術を高めることができます。これまで多くの大会やコンクールで素晴らしい成績を収めてきました。

最後に、生徒会活動です。私たち十七代目生徒会は、ボランティアに力を入れています。校内を整える清掃ボランティアや、地域へ出て行く「徳内清掃ボランティア」等があります。新入生の皆さんも積極的に参加し、一緒に生徒会活動を盛り上げていきましょう。

明日から学校生活が始まります。分からないことや心配なことも出てくるでしょう。そんな時は、迷わず、私たち上級生に相談してください。どんな時も、皆さんの話を聞きます。安心してください。

